

「安全安心社会の為の Safety Service Engineering」(SSE 研究会)

第 11 回研究会・議事録

日時： 2011 年 4 月 28 日（木） 13:00 - 15:15

場所： 日本機械学会、会議室（東京）

議題：

1. 化学プロセスの安全と安全計装（機能安全規格 IEC61508）

東京計装株式会社技術顧問 中川雅造

配布資料： No.27 安全計装とは

化学プロセスの事故及びその要因説明後、安全計装の内容につき講演頂いた。

2. 東日本大地震に伴う福島原発事故 2011～背景と社会的意味・未来への責任

加部隆史による説明・問題提起と合同討論

配布資料： No.28 福島原発震災 2011 と情報の非対称性(SDP1)

No.29 福島原発震災 2011 概要図

地震・津波に加え福島原発事故が勃発し、現在も進行中であり、これに関連する政府の報道内容に疑問が生じている。その為、ディスカッション・ペーパーSDP1 を事前に参加者へ配布し、当日の参加者からは以下のような意見が出た。

- 止めた後の冷やす作業が遅かった
- 何をどうするかにつき各自、自己責任に基づく判断が必要
- これは安全上の問題である
- 情報の流れが明確でない
- 技術立国の日本で、まさか原発がやられるとは思わなかった。原発専門家の説明が必要。産業界の打撃は大きいですが、うまくそのリスク分散は出来ているので、1年で回復するだろう
- 情報リテラシーの必要性
- 設計のコア情報が正しく伝達されていない。復興には新しい学問体系、特需等が伴う
- 原子炉の利便性とリスクの関係が十分に吟味されていない
- 中立的な第三者機関が必要
- 想定外ではなく、意図的に除外していた。全交流電源喪失は本来ありえず、知っていたのに補正できていなかった。第三者の検査が必要。社会システムの問題で、他でも起きる
- 情報の非対称性は同感。再度信頼を得るため、社会システムの再構築必要。後は、日本で良くなっても、中国で原発増えれば日本への影響も考えられる。

*今後の予定

第 12 回 SSE 研究会：2011 年 6 月 15 日 日本機械学会 ICM&S 講習会

<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=804>

第 13 回 SSE 研究会：2011 年 6 月 21 日（追って開催通知を出します）

以上